

# 平成23年度 京丹後市の教育



138年の校史に幕（三津小学校）

## 京丹後市教育委員会

## 「平成23年度京丹後市の教育」発刊のことば

平成23年3月11日、東北地方太平洋沖で発生した巨大地震は、1万8千人余りの死者・行方不明者を生む東日本大震災を引き起こし、地震による大津波は、原子力発電の安全神話を覆す未曾有の重大事故をもたらしました。

震災の犠牲者の中には、輝かしい将来を夢見ていた多くの子どもたちも含まれています。自身は難を逃れたものの、かけがえのない家族を失い、不自由な避難生活を送りながら学校に通う子どもたちも大勢います。平成23年度は、人の生と死について、また絆の大切さについて改めて深く考えさせられた一年でした。

さて、本市の教育行政に目を転じますと、平成23年度は、東日本大震災を機にますます必要性が高まった学校施設の耐震化に積極的に取り組みました。特に、大地震の際に倒壊・崩壊の危険性が高いとされるI s値0.3未満の施設の耐震化を重点的に行ってまいりました。補強が可能な学校については耐震補強工事を、また補強が困難な学校については代替施設の整備を行うことにより、児童・生徒の学校生活の安全確保に努めました。

また学校関係では、「京丹後市学校再配置基本計画」に基づいた学校再配置の動きを本格化させました。平成24年4月の再配置を目途にした島津小学校と三津小学校の取組みにおいては、学校づくり準備協議会を設置して慎重に話し合いを進めた結果、新生「島津小学校」誕生の協議が整い、市議会の承認を得て計画策定後初めてとなる学校再配置が決まりました。

社会教育関係では、例年実施している「小町ろまん短歌大会」を「第26回国民文化祭・京都2011」事業として盛大に開催し、全国に向けて京丹後市の魅力を発信するとともに、短歌を通じた交流を深めました。また、懸案となっている公民館の再配置計画は、市社会教育委員会議の答申に基づいて原案を作成し、関係者の意見を聞きながら具体化に向けた協議を開始しました。

文化財保護関係では、将来の開発に備えて遺跡の分布調査を実施するとともに、網野調子山古墳の整備に向けた基本計画を策定しました。市史編さん事業においては、資料編『京丹後市の伝承・方言』を刊行しました。また丹後建国1300年事業として『丹後二大古墳と古代タニワ』と題したシンポジウムの開催、出土遺物のレプリカ作成や展示パネルの製作による資料館展示資料の充実など、文化財の普及啓発に努めました。

「京丹後市の教育」（教育要覧）は、今回で8回目の発行になります。今後いっそう内容の充実に努めてまいりたいと思いますので、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

平成24年9月

京丹後市教育委員会

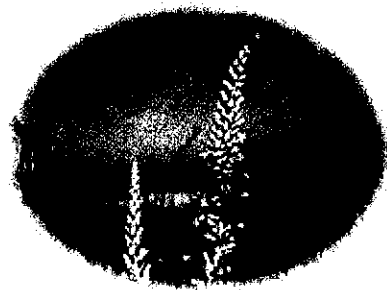
教育長 米田 敦弘

## 市の花について

### 市の花「トウテイラン」

トウテイランは、8月から9月にかけて多数の青紫色の花を開く多年草であり、山陰海岸の砂丘に見られ、箱石砂丘の群落は「京都の自然 200 選」にも選定されています。

盛夏から秋にかけ、中国の洞庭湖（どうていこ）の湖水のように美しく神秘的な色の花を咲かせるトウテイランは、日本固有種で外国には自生しておらず、また、日本国内でも数か所にしか自生していない非常に貴重な花です。



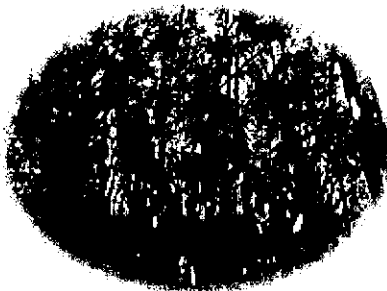
## 市の木について

### 市の木「ブナ」

ブナは、温帯林を代表する落葉広葉樹であり、雪にもめげず、春には他の落葉樹に先がけて芽吹きを始めます。

京丹後市には、山から里、そして海が1つの市の中で連続しているという特徴があり、森で育まれた栄養分が川から水田へ流れておいしいお米を育て、最後には海へ流れて、貝や魚等の生き物を育てています。

温暖化や森林破壊、人口爆発等、地球規模での課題に直面している今、気候を安定させ、多様な生き物を育み、「緑のダム」として水や食料を私達に与えてくれるブナ林は、まさに京丹後市の自然豊かな環境のシンボルと言えます。



## 市の歌について

未来を担う子どもたちが、ふるさとに対して興味や関心を持ちふるさとを誇りに思うことができる歌をめざし、市民の皆様にも永く歌い継がれる歌、京丹後市に夢を持ち、生き活きと歌い継いでいける歌、そして希望を持ち、将来に向かい明るい展望が持てる歌となるように京丹後市の魅力をもりこんだ歌です。（作詞：梅田俊作 作曲：藤原哲也）



### 京丹後市歌

詞 梅田 俊作

- 一、海青く 緑の半島 風ぞよぐ  
めぐりくる 季節のなかに いだかれて  
描く夢 色鮮やかに いつまでも  
ふるさと色は 君の原色
- 二、薄墨の 雲間に光る 海原は  
はるかなる 絹の道と 波つづき  
季節風（うらに）に むかるむ大地 踏みしめて  
歩いていこう 夢が道しるべ
- 三、さんさんと 天（から）に子午線 時が往く  
世代越え 伝え守る 手から手に  
ものづくり ものがたりの 玉手箱  
はるか未来へ 君に預け物
- 四、いにしへの 歴史をたどる 丹後路は  
新しき 王国へと つづく道  
手をつなごう 石の思いが 羅針盤  
ただひたすらに 京、丹後の 明日へ

# 目 次

## 教育行財政

- 1 教育行財政・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

## 学校教育

- 1 園児・児童生徒数及び学級数の推移・・・・・・・・・・ 14
- 2 学校施設一覧・整備計画・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 3 学校通学区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- 4 奨学金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- 5 学校再配置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
- 6 学校保健・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
- 7 学校給食・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
- 8 就学援助・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
- 9 幼稚園教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
- 10 教育指導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
- 11 学校安全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
- 12 不登校対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
- 13 研究等指定校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
- 14 学校情報化推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56

## 社会教育

- 1 社会教育事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
- 2 社会教育施設事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 97
- 3 社会体育事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100
- 4 社会体育施設一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 112
- 5 図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113

## 文化財

- 1 文化財保護事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 122
- 2 文化財保護関係施設・・・・・・・・・・・・・・・・ 128
- 3 指定文化財・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 131

## 各種委員名簿

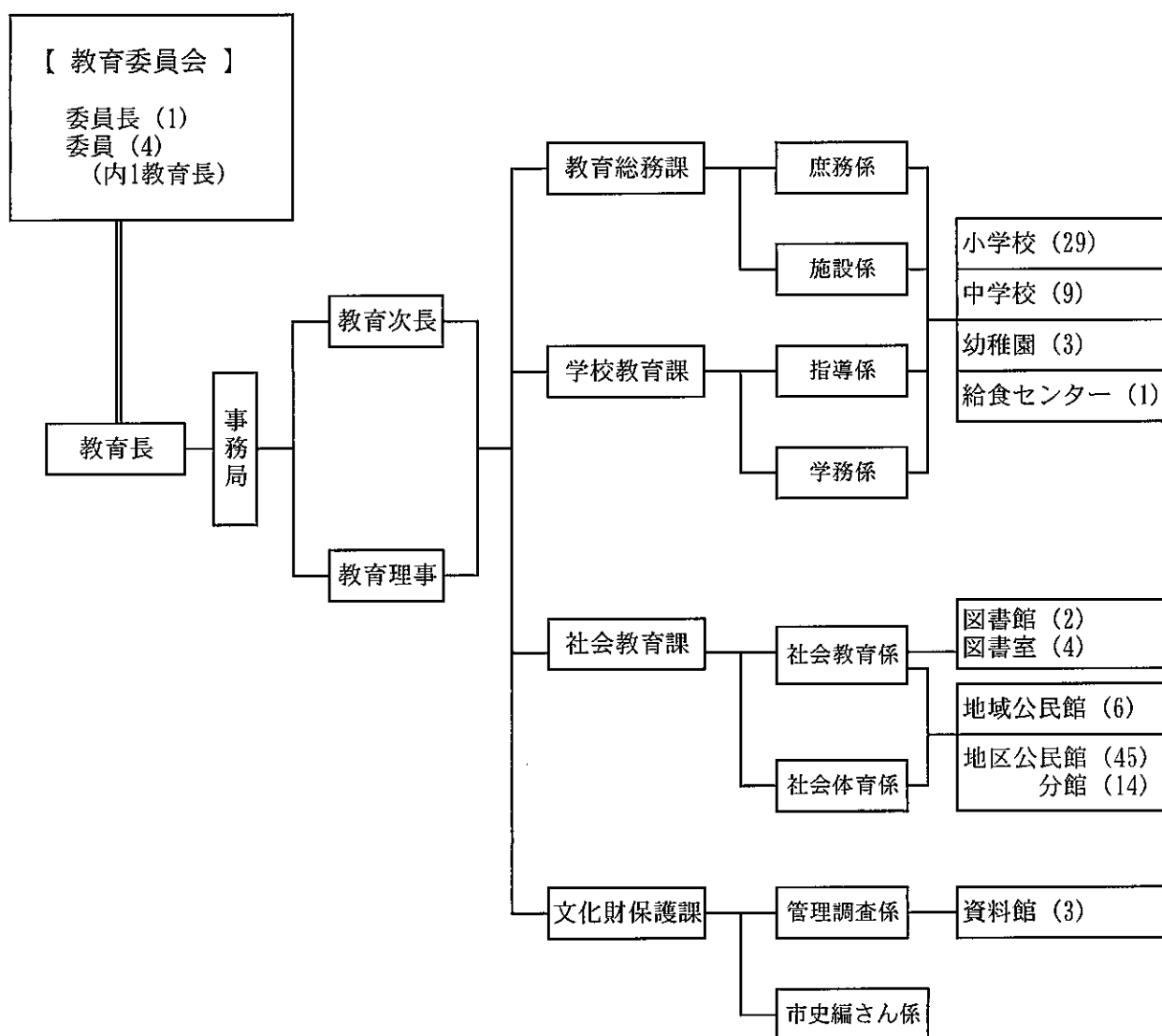
- 1 各種委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 132

# 教育行財政

# 教育委員会委員

	平成23年7月7日まで	平成23年7月8日から
委員長	上羽 敏夫	小松 慶三
委員長職務代理者	文珠 清道	文珠 清道
委員	森 益美	森 益美
	小松 慶三	水野 孝典 (平成23年12月7日まで) 野木 三司 (平成24年1月30日から)
教育長	米田 敦弘	米田 敦弘

## 教育委員会組織体制図



# 教育委員会事務分掌表

## 教育総務課

### ○庶務係

- 1 教育委員会の会議に関する事。
- 2 公印の管理に関する事。
- 3 教育振興基本計画に関する事。
- 4 教育に関する事務の管理・執行状況の点検・評価に関する事。
- 5 規則等の制定及び改廃に関する事。
- 6 市役所その他関係機関との連絡調整に関する事。
- 7 教職員安全衛生委員会に関する事。
- 8 非常勤特別職員の任用に関する事。
- 9 臨時職員の任用に関する事。
- 10 叙勲及び表彰に関する事。
- 11 奨学金に関する事。
- 12 寄付採納に関する事。
- 13 公用車の管理運行に関する事。
- 14 スクールバスの定期運行及び管理に関する事。
- 15 職員の公務災害に関する事。
- 16 文書の收受及び発送に関する事。
- 17 教育要覧、広報、ホームページに関する事。
- 18 公布、告示、訓令等の公告手続きに関する事。
- 19 教育長協議会に関する事。
- 20 教育委員会の庶務に関する事。
- 21 前各号に掲げるもののほか、他課の主管に属さない事項に関する事。

### ○施設係

- 1 教育施設の耐震化に関する事。
- 2 教育施設の整備・維持管理に関する事。
- 3 教育施設の交付金、国庫負担金に関する事。
- 4 教育施設の防災に関する事。
- 5 教育施設の施設台帳及び財産台帳に関する事。
- 6 学校の機械警備及び事務機器に関する事。
- 7 前各号に掲げるもののほか、教育施設に関する事。

## 学校教育課

### ○指導係

- 1 教職員の研修に関する事。
- 2 学校、幼稚園の教育課程に関する事。
- 3 学校教育、社会教育の企画調整に関する事。
- 4 教育相談に関する事。
- 5 就学指導に関する事。
- 6 学校評議員に関する事。
- 7 指導室との連絡調整に関する事。
- 8 情報教育に関する事。
- 9 英語指導助手の活用に関する事。
- 10 学校、幼稚園の諸調査に関する事。
- 11 教科書の採択に関する事。
- 12 スクールサポーターに関する事。
- 13 教職員の公務災害に関する事。

### ○学務係

- 1 学校給食に関する事。
- 2 就学時健診に関する事。
- 3 教職員の健康管理に関する事。
- 4 就学援助に関する事。
- 5 学校再配置に関する事。
- 6 通学区域に関する事。
- 7 教育備品の管理に関する事。
- 8 幼稚園の就学及び保育料に関する事。
- 9 教科書の無償給与及び指導書に関する事。
- 10 就学及び就園に関する事。
- 11 遠距離通学補助金に関する事。
- 12 へき地に関する事。
- 13 児童・生徒数の推計に関する事。
- 14 学校の情報化に関する事。
- 15 日本スポーツ振興センターに関する事。
- 16 学校・幼稚園の安全確保に関する事。
- 17 小・中学校との連絡調整に関する事。
- 18 給食調理の委託に関する事。
- 18 前各号に掲げるもののほか、学事、保健及び給食に関する事。



## 社会教育課

### ○社会教育係

- 1 社会教育委員会議に関する事。
- 2 社会教育計画の立案に関する事。
- 3 社会教育施設の整備に関する事。
- 4 社会教育備品の管理に関する事。
- 5 公民館に関する事。
- 6 図書館に関する事。
- 7 社会教育事業の協力・支援に関する事。
- 8 社会教育団体の育成・支援に関する事。
- 9 人権教育の推進に関する事。
- 10 家庭・地域の教育力向上に関する事。
- 11 視聴覚教育に関する事。
- 12 国際理解教育・交流事業に関する事。

### ○社会体育係

- 1 スポーツ振興審議会に関する事。
- 2 体育、スポーツ及びレクリエーションの振興に関する事。
- 3 市体育協会に関する事。
- 4 体育指導委員に関する事。
- 5 社会体育施設の整備に関する事。
- 6 社会体育備品の管理に関する事。

## 文化財保護課

### ○管理調査係

- 1 文化財保護審議会に関する事。
- 2 文化財保護団体に関する事。
- 3 文化財補助金に関する事。
- 4 埋蔵文化財の発掘に関する事。
- 5 発掘調査報告書に関する事。
- 6 講演会、研究会及び展示会等の開催に関する事。
- 7 文化財資料の利用者に対する情報提供及び指導助言に関する事。
- 8 前各号に掲げるもののほか、文化財の管理調査に関する事。

### ○市史編さん係

- 1 市史編さんに関する事。
- 2 歴史考古資料の収集、保存、調査、整理及び研究に関する事。

## 教育委員会の開催状況(平成23年4月～平成24年3月)

23. 4. 8	17	京丹後市社会教育委員の委嘱について
	18	京丹後市立学校施設耐震化計画の一部変更について
	19	(社)日本3B体操協会創立40周年記念生涯学習フェスティバル PARTV2011 in 丹後・丹波第5回北関西大会に係る後援について
	20	京都府小学校教育研究会理科教育研究大会に係る後援について
	報告 3	京丹後市学校医、学校歯科医、学校薬剤師の委嘱について
	報告 4	京丹後市立学校評議員の委嘱について
	報告 5	京丹後市地区公民館職員の任命について
23. 5. 11	21	平成24年度使用京丹後市教科用図書の採択に関する基本方針について
	22	平成24年度使用京丹後市教科用図書に関する調査及び研究について (諮問)
	23	京丹後市学校教科用図書選定委員会の委員の委嘱又は任命について
	24	近畿高等学校駅伝競走大会の後援等について
	25	京丹後市小中一貫教育研究推進協議会設置要綱の制定について
	26	京丹後市学校教育連携専門部会設置規程の制定について
	報告 6	学校教育における食育の推進と地産地消の連携について
	報告 7	就学前教育の充実に伴う幼稚園の検討状況について
	報告 8	京丹後市スクールガード・リーダーの委嘱について
23. 6. 1	28	京丹後市社会教育指導員の解嘱について
	29	京丹後市社会教育指導員の委嘱について
	30	第60回日本PTA全国研究大会京都大会に係る後援について
	31	日本語支援ボランティア研修会(北部)に係る後援について
	32	専決処分の承認について(あやべ若者サポートステーション開設3周年記念京都北部交流イベント ～子ども・若者へ「夜回り先生からのメッセージ」&「里山再生塾」～に係る後援)
	報告 9	京丹後市体育指導委員の委嘱について
23. 7. 8	33	京丹後市指導主事の任命について
	34	平成23年度松竹新派特別公演「女の一生」に係る後援について
	35	夏休み特別展「昭和レトロの世界 ～わが街なつかしの広場～」に係る後援について
	36	ポリテックビジョンin京丹後2011に係る後援について
	報告 10	京丹後市就学指導委員会委員の委嘱について
	報告 11	京丹後市小中一貫教育研究推進協議会委員の委嘱について

23. 8. 8	37	京丹後市立幼稚園条例の一部改正について
	38	平成24年度使用京丹後市立小学校教科用図書の採択について
	39	平成24年度使用京丹後市立中学校教科用図書の採択について
	40	講演会「自立に向けて－ほめて、しかって、子育てまっ最中」に係る後援について
	41	京都府公立幼稚園PTA連絡協議会[北部会場]研修会に係る後援について
	42	第6回ほくとしんきん杯両丹軟式野球大会に係る後援について
	報告12	財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について
23. 9. 7	43	京丹後市公民館再配置計画(案)について
	44	網野銚子山古墳に関する整備方針に係る諮問について
	45	京丹後市史跡整備検討委員会委員の委嘱について
	46	京都府中学校教育研究会総合的な学習の時間研究大会に係る後援について
	47	メグミルクカップ第29回京都少年サッカー支部選抜大会に係る後援について
23. 9. 29	48	京丹後市立幼稚園条例施行規則の一部改正について
	49	京丹後市立幼稚園預かり保育事業実施要綱の制定について
	50	京丹後市教育委員会事務局職員の課長補佐人事について
23. 10. 6	43	京丹後市公民館再配置計画(案)について
	51	京丹後市立学校施設耐震化計画の一部変更について
	52	平成23年度「教育について考える」シンポジウムに係る後援について
	53	医療的ケア地域交流会「取り戻した声 難病からのチャレンジ ソプラノ歌手 青野浩美 ライブ&トーク」に係る後援について
	報告13	京丹後市立学校薬剤師の解職について
	報告14	京丹後市立学校薬剤師の委嘱について
23. 11. 2	54	京丹後市立学校条例の一部改正について
	55	京丹後市立学校通学区域規則の一部改正について
	56	京丹後市立網野学校給食センター条例施行規則の一部改正について
	57	京丹後市社会体育施設条例の一部改正について
	58	京丹後市社会体育施設条例施行規則の一部改正について
	59	京丹後市立学校体育施設等の利用等に関する条例の一部改正について
	60	京丹後市スポーツ振興審議会条例の一部改正について
	61	京丹後市スポーツ振興審議会条例施行規則の一部改正について
	62	京丹後市体育指導委員規則の一部改正について
	63	京丹後市教育委員会事務局組織規則の一部改正について

	64	平成22年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について
	65	京丹後市総合文化祭に係る後援について
23. 11. 26	66	教育委員会所掌事務の変更について
23. 12. 7	67	京丹後市学校再配置基本計画実施方針の見直しについて
	68	朝日ファミリー劇場「ピノッキオ」京丹後市公演に係る後援について
	69	第38回京都府下お母さん合唱祭に係る後援について
	70	欠番
	71	京丹後市教育委員会委員の辞職の同意について
24. 1. 4	1	米村でんじろうのおもしろサイエンスショー2012に係る後援について
24. 2. 8	2	平成24年度「指導の重点」について
	3	平成24年度全国学力・学習状況調査の実施について
	4	京丹後市外国語指導助手の服務等に関する規則の一部改正について
	5	京丹後市公民館条例の一部改正について
	6	京丹後市立図書館条例の一部改正について
	報告1	京丹後市史跡整備検討委員会委員について
24. 2. 23	7	平成24年度京丹後市立学校教職員の管理職人事異動内申について
	8	平成24年度教育予算について
	9	京丹後市立保育所条例施行規則の制定について
	10	京丹後市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
	11	京丹後市教育委員会事務委任規則の一部改正について
	12	京丹後市教育委員会職員補職名規則の一部改正について
	13	京丹後市立保育所延長保育事業実施要綱の制定について
	14	京丹後市一時預かり事業実施要綱の制定について
	15	京丹後市立保育所休日保育事業実施要綱の制定について
	16	京丹後市子育て短期支援事業実施要綱の制定について
	17	京丹後市子育て支援センター事業実施要綱の制定について
	18	京丹後市教育委員会公印規程の一部改正について
	19	優悠写真同好会・写真展に係る後援について
	報告20号	学校用地の市道認定について
	報告21号	平成24年度京丹後市立幼稚園職員（管理職）の人事異動について

24. 3. 7	22	平成24年度京丹後市立学校教職員の一般職人事異動内申について
	23	京丹後市指導主事の任命について
	24	京丹後市社会教育委員の委嘱について
	25	京丹後市図書館協議会委員の任命について
	26	京丹後市社会教育指導員の委嘱について
	27	京丹後市地域公民館長の任命について
	28	京丹後市立資料館長の委嘱について
	29	京丹後市文化財保護審議会委員の委嘱について
	30	専決処分について（2012年京丹後市ジュニアフットサル大会NISSINカップに係る後援）
	報告31号	京丹後市教育委員会事務局職員の管理職（課長以上）人事について
	報告32号	京丹後市教育委員会職員補職名規則の一部改正について
24. 3. 13	33	京丹後市教育委員会事務局職員の一般職及び課長補佐（相当職を含む）人事について

## 教育委員会制度について

教育委員会は、都道府県及び市町村等におかれる合議制の執行機関です。創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習の推進をはじめ、教育、文化、スポーツ振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく上で、教育委員会制度は重要な役割を担っています。

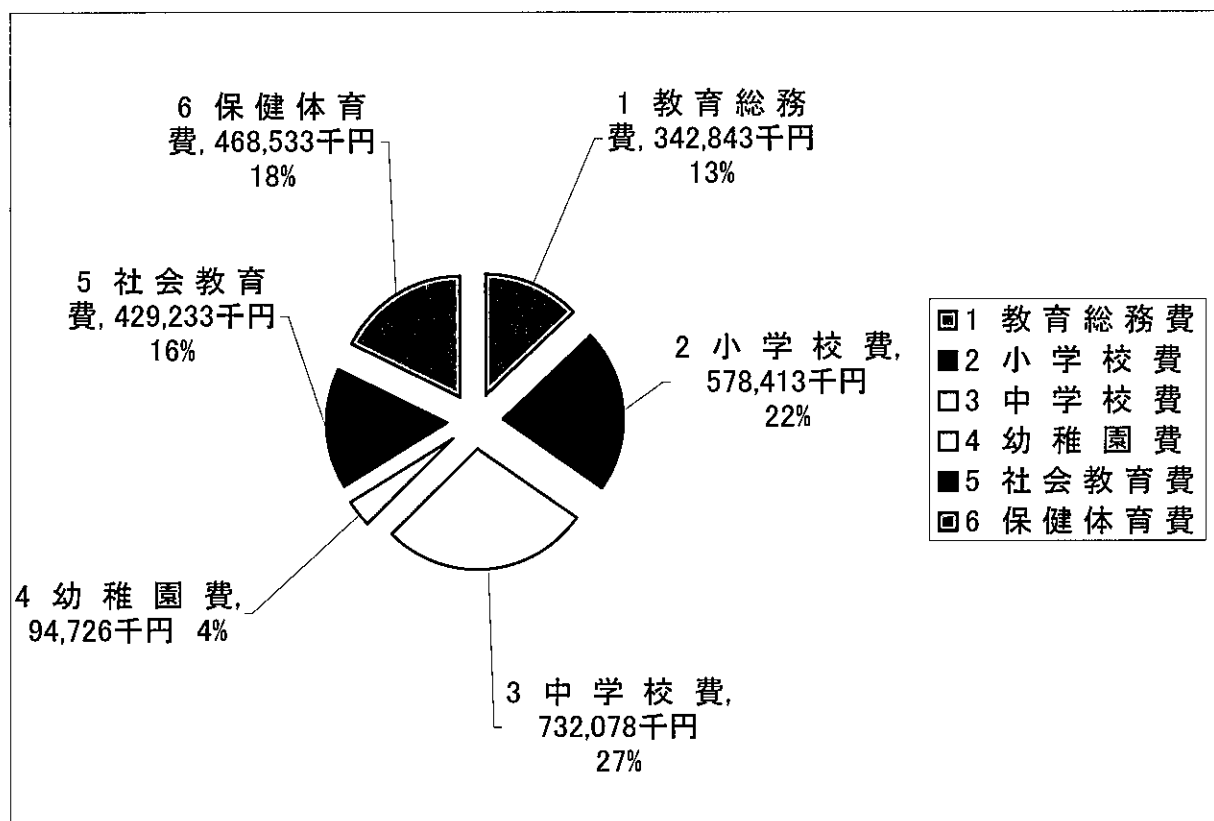
（教育委員会制度の根拠法律：「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」）

教育委員会制度の意義としては、①地方自治の尊重、②教育行政の中立性と安定性の確保、③指導行政の重視、④教育行政と一般行政の調和、⑤国・都道府県・市町村の連携、⑥生涯学習など教育行政の一体的な推進、の6つがあります。

## 教育費予算の概要

(単位：千円)

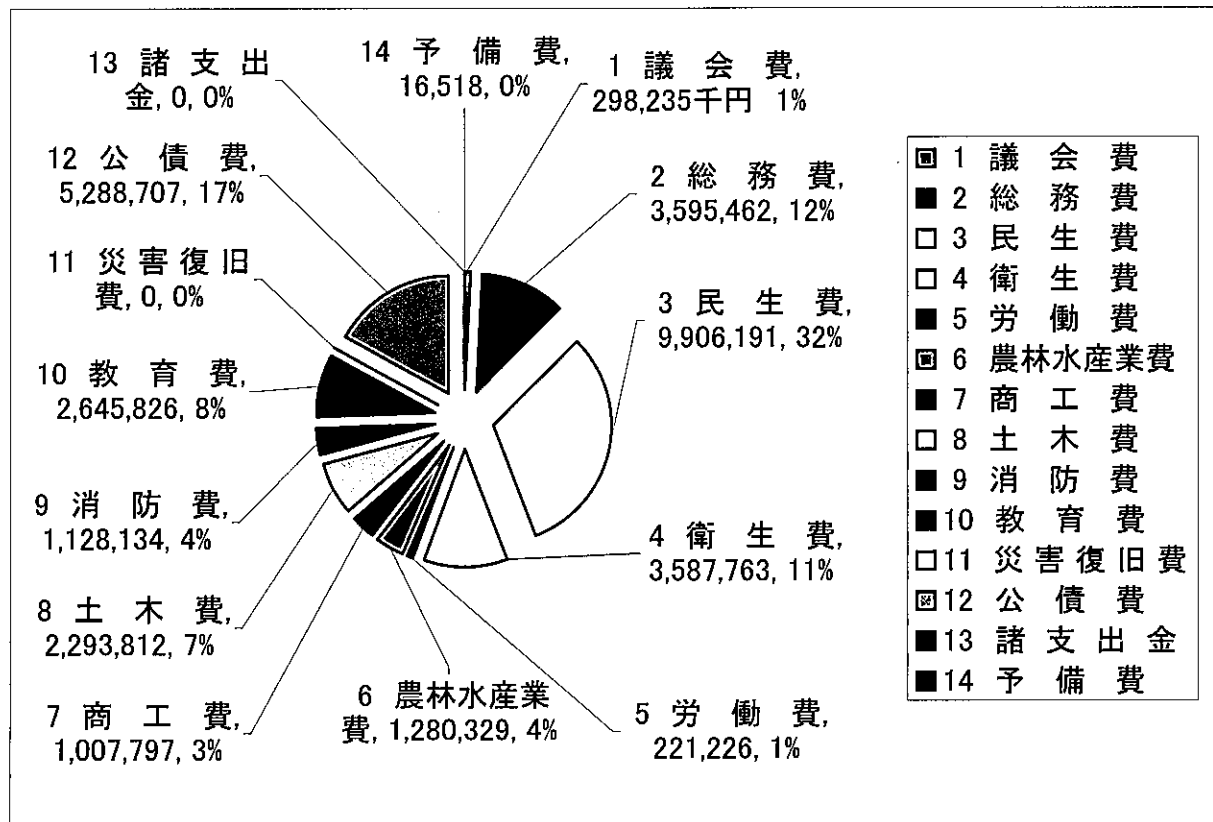
区 分	平成23年度	平成22年度	比 較
一般会計総額	31,270,000	29,340,000	1,930,000
教育費	2,645,826	2,092,563	553,263
(教育費の占める割合)	8.4%	7.1%	—
1 教育総務費	342,843	321,129	21,714
2 小学校費	578,413	508,282	70,131
3 中学校費	732,078	261,053	471,025
4 幼稚園費	94,726	76,245	18,481
5 社会教育費	429,233	434,032	△ 4,799
6 保健体育費	468,533	491,822	△ 23,289



# 一般会計歳出予算の目的別内訳

(単位：千円)

区 分	平成23年度	平成22年度	比 較
1 議 会 費	298,235	220,601	77,634
2 総 務 費	3,595,462	3,410,062	185,400
3 民 生 費	9,906,191	8,860,267	1,045,924
4 衛 生 費	3,587,763	3,505,844	81,919
5 労 働 費	221,226	275,599	△ 54,373
6 農林水産業費	1,280,329	1,515,660	△ 235,331
7 商 工 費	1,007,797	1,090,290	△ 82,493
8 土 木 費	2,293,812	1,907,504	386,308
9 消 防 費	1,128,134	1,116,642	11,492
10 教 育 費	2,645,826	2,092,563	553,263
11 災害復旧費	0	0	0
12 公 債 費	5,288,707	5,324,076	△ 35,369
13 諸 支 出 金	0	0	0
14 予 備 費	16,518	20,892	△ 4,374
合 計	31,270,000	29,340,000	1,930,000



# 主要な決算の概要

## 1 学校教育の充実

### 教育環境の充実

#### ○学校再配置推進事業

【教育費】(新規) 63万円 (教育委員会事務局 学校教育課)

学校再配置基本計画(平成23年度～平成32年度)に基づき、保護者、地域および学校関係者などへの説明と対話による理解を深めながら、10年間で小学校は30校を19校に、中学校は9校を6校にする学校再配置事業に取り組んでいます。

関係者などの理解を得た後、再配置後の新しい学校づくりについて協議を進めるため、再配置する学校の枠組みごとに「(仮称)学校づくり準備協議会」を設け、学校の名称や教育活動、学校運営における組織の取扱いなど細部にわたって調査研究、協議し、新たな学校づくりに反映していきます。

平成23年度は、島津小学校と三津小学校の平成24年4月の学校再配置に向け、両校の交流学习を行いました。また、拠点校となる島津小学校の校旗を新調するとともに、閉校式典を挙行了しました。

#### ○学校教育連携推進事業

【教育費】(新規) 41万円 (教育委員会事務局 学校教育課)

現在、複式学級の編制や男女に偏りが見られる小学校、クラス替えができなかったり部活動数を制限される中学校があります。また、小学校一年生のときに見られる「戸惑い」や小学校と中学校との「段差の問題」など、新たな教育課題も生じてきています。

このような状況を踏まえ、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」のバランスがとれ、「生きる力」を今以上に高めていくことを基本とし、義務教育終了時に期待される学力を享受できる教育環境と系統的で一貫性のある教育をめざしていくため、「学校教育改革構想」策定の取り組みを進めました。

さらに、「小中一貫教育研究推進協議会」と「学校教育連携専門部会」を設け、本市の特性や実情を十分に踏まえた教育環境と推進体制の構築に向け、学校間・校種間連携を拡充する具体的な教育課程、学校組織運営などを調査研究するとともに、研究校を選定して教育内容や学校経営など諸課題の分析・研究を進めました。

#### ○小学校施設耐震化事業

【教育費】(継続) 1億1,966万円 (教育委員会事務局 教育総務課)

京丹後市立学校施設耐震化計画に基づき、耐震性能の低い学校施設の耐震化を図りました。佐濃小学校の校舎は、建物のコンクリート自体の劣化が著しく、耐震補強工事を行っても基準を満たす耐震性能が得られないため、代替施設としてグラウンド内に仮設校舎を設置しました。

また、大宮第二小学校の校舎、大宮第三小学校、吉野小学校および田村小学校の体育館の耐震補強工事を平成24年度に実施する予定としているため、この工事に向けた実施設計を行いました。



○間人中学校体育館改築事業

【教育費】(新規) 2億3,002万円 (教育委員会事務局 教育総務課)

間人中学校の体育館については、建築後45年以上が経過し老朽化が著しく、耐震補強工事を行うことが不可能であるため改築することとし、既設体育館撤去後の跡地を駐車場兼テニスコートとして整備することにしました。

事業は平成23年度中に完了する予定でしたが、予想し得なかった地中の転石の影響により工事が大幅に遅延し、平成24年度に繰り越して引き続き事業を実施することになりました。

○幼稚園施設耐震化事業

【教育費】(繰越・継続) 2,058万円 (教育委員会事務局 教育総務課)

耐震性能の低い網野幼稚園園舎の耐震補強工事を行うとともに、耐震補強工事が不可能であると判定された峰山幼稚園園舎について、その代替施設として吉原小学校の空き教室などを利用するための改修工事を行いました。

○給食調理室空調設備設置事業

【教育費】(新規) 1,861万円 (教育委員会事務局 教育総務課)

食の安全を確保するとともに、給食調理員の職場環境を改善するため、夏季中の室温上昇が特に著しい給食調理室に空調設備を計画的に整備することにしました。平成23度は、峰山中学校、大宮中学校、弥栄中学校、久美浜中学校、高龍中学校の5つの中学校に設置しました。

**子どもたちが生まれ育った地域の自然や歴史の学習**

○小学生ジオパークフィールド学習事業

【教育費】(継続) 12万円 (教育委員会事務局 学校教育課)

高学年を対象に「小学生理科体験プログラム『大地の学習』フィールドワークハンドブック」を活用し、現地に出向いて観察・体感する理科の学習を行いました。

この取り組みは、平成22年10月に世界ジオパークネットワークへの加盟が認定された「山陰海岸ジオパーク」の取り組みと連動しており、ふるさとの誇れる財産を保全し後世に引き継いでいくとともに、活気ある地域づくりのために有効に活用していくための「ふるさと学習」として実施しています。

○中学校社会科学習教材作成事業

【教育費】(拡充) 59万円 (教育委員会事務局 文化財保護課)

子どもたちが、生まれ育った地域の歴史を学び、理解を深めることで、京丹後に対する愛着や郷土愛を育んでもらうために、地域の歴史などにちなんだ社会科副読本「京丹後の歴史」を2,000部作成し、中学生全員に配布しました。

○学校支援地域本部事業

【教育費】(継続) 526万円 (教育委員会事務局 社会教育課)

地域全体で学校教育を支援するため、さまざまな特技や技能をもった地域のかたに、学校支援ボランティアとして登録していただき、学校の求めに応じて、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などの活動を行いました。

すべての幼稚園、小中学校で実施しており、学校を核とした地域の教育力の向上と活性化をめざしています。

## 2 歴史文化遺産の保全と活用

### 丹後建国1300年に向けた取り組み

#### ○「丹後建国1300年」に向けたシンポジウム開催事業

【教育費】(新規) 82万円 (教育委員会事務局 文化財保護課)

丹後国は、西暦713年(和銅6年)に丹波国から分かれて誕生し、2013年(平成25年)に丹後建国1300年の節目の年を迎えます。

これを機に、『丹後王国』とも言われているように弥生時代から古墳時代にかけて大陸の進んだ技術や日本各地との交流を通して発展した古代の丹後や丹後国誕生後の歴史について理解を深め、平成25年の丹後建国1300年に向けて市民の機運を高めます。

平成23度は、丹後国誕生前の古墳時代に焦点をあて「丹後二大古墳と古代タニワ」と題したシンポジウムを開催しました。

### 京丹後市史の発刊

#### ○市史編さん事業

【教育費】(継続) 861万円 (教育委員会事務局 文化財保護課)

京丹後市の歴史と自然を写真や図版を用いてわかりやすく解説する本文編(全2冊)と、本市に関係する文化財などを紹介する資料編(全12冊)からなる「京丹後市史」を作成します。(平成17年度～平成26年度)

平成23年度は、資料編『京丹後市の伝承・方言』を刊行しました。